

令和3年 知立市議会 3月定例会 市民福祉委員会報告

令和3年5月8日（土）

〈 委員会構成 〉

委員長：杉浦弘一、副委員長：山田圭

委員：那須幸子、中野智基、小林昭弐、高木千恵子、佐藤修

令和3年 知立市議会 3月定例会で審議した議案等

▼ 市民福祉委員会 所管分（議案：8件、陳情：1件）

番号	議案等	自由討議	討論	採決結果
議案 第1号	第4期知立市障がい者計画の策定について	なし	なし	可決 すべきもの
議案 第8号	知立市心身障害者扶助料支給条例の一部を改正する条例	なし	なし	可決 すべきもの
議案 第9号	知立市遺児手当支給条例の一部を改正する条例	なし	なし	可決 すべきもの
議案 第10号	知立市中央子育て支援センター条例及び知立市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例の一部を改正する条例	なし	なし	可決 すべきもの
議案 第11号	知立市介護保険条例の一部を改正する条例	なし	なし	可決 すべきもの
議案 第12号	知立市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	なし	なし	可決 すべきもの
議案 第13号	知立市子ども医療費支給条例の一部を改正する条例	なし	なし	可決 すべきもの
議案 第14号	知立市障害者医療費支給条例等の一部を改正する条例	なし	なし	可決 すべきもの
陳情 第1号	ゼロカーボン達成に向けた取組みの推進に関する陳情書	なし	なし	採択 すべきもの

令和3年 知立市議会 3月定例会で審議した議案等

▼ 予算・決算委員会 市民福祉分科会 所管分（議案：5件）

番号	議案等	自由討議	討論	採決結果
議案 第19号	令和2年度知立市一般会計補正予算（第12号）	なし		分科会では、 討論・採決は 行いません。
議案 第20号	令和2年度知立市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	なし		
議案 第21号	令和2年度知立市介護保険特別会計補正予算（第4号）	なし		
議案 第22号	令和2年度知立市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	なし		
議案 第25号	令和3年度知立市一般会計予算	なし		

今回の報告事項

No.	区分	番号	名称
1	議案	第 1号	第4期知立市障がい者計画の策定
2	議案	第 8号	知立市心身障害者扶助料支給条例の一部を改正する条例
3	陳情	第 1号	ゼロカーボン達成に向けた取組みの推進に関する陳情書
4	議案	第25号	令和3年度知立市一般会計予算
5	—	—	知立市新型コロナワクチン接種計画

その他、下記事業について、質疑答弁がありました。

・多胎児家庭健診サポート事業・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業・ひとり親家庭支援事業・マイナンバーカード事業・就労継続支援事業所工賃等水準保証事業・創業支援事業・国民年金保険事業、等

1. 議案第1号

第4期知立市障がい者計画の策定

< 法的根拠 >

◆障害者基本法 第11条第3項

- ・市町村は、障害者基本計画及び都道府県障害者計画を基本とするとともに当該市町村における障害者のための施策に関する基本的な計画を策定しなければならない。

◆障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 第88条第1項

- ・市町村は、基本指針に即して、障害福祉サービスの提供体制の確保その他この法律に基づく円滑な実施に関する計画を定めるものとする。

◆児童福祉法 第33条の20第1項

- ・市町村は、基本指針に即して、障害児通所支援及び障害児相談支援の提供体制の確保その他障害児通所支援及び障害児相談支援の円滑な実施に関する計画を定めるものとする。

1. 議案第1号

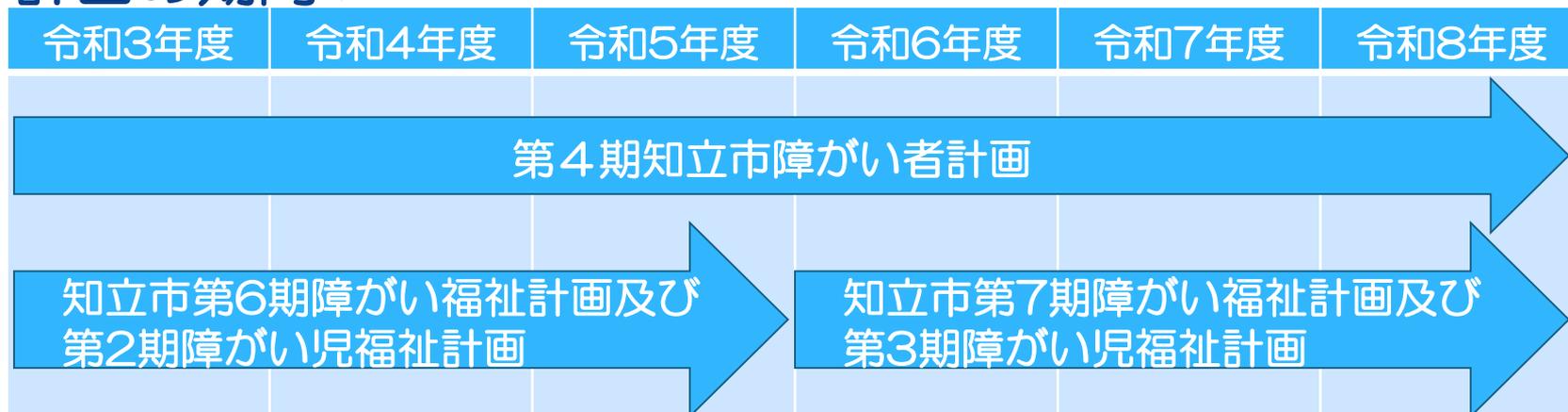
第4期知立市障がい者計画の策定

< 計画の基本理念 >

- 国の障がい者施策や第6次知立市総合計画の方向性を踏まえた上で、障がい者が基本的人権を享有する個人としての尊厳を持ち、自らの決定に基づいて必要な支援を受けながら社会化活動に参画し、生きがいのある暮らしを営むことができるようにする。

「わかりあい、支えあい、みんなでつくる地域共生社会」の実現

< 計画の期間 >



1. 議案第1号

第4期知立市障がい者計画の策定

＜重点的に取り組む視点＞

① 障がい特性への一層の配慮

② 社会参加の促進

③ 8050問題への対応

- ・8050問題とは、80歳代の親と50歳代の子どもの組み合わせによる様々な生活問題（特に引きこもりの50歳代の問題が大きい）

④ 特別な支援が必要な子どもの療育

⑤ 精神障がい者に対応した地域包括ケアシステムの構築

⑥ 変化の激しい社会への対応

▶当事者、支援者、関係団体、事業者、専門家、地域、行政が、各課題の現状と方向性を共有しながら、それぞれの役割を互いに認識し、連携を深めながら、基本理念の実現を目指します。

1. 議案第1号

第4期知立市障がい者計画の策定

＜着眼点＞

- ・障がい者にとって優しい支援体制がとれているか

委員の質問	当局の答弁
①8050問題には、どのように対応していくのか？	①基幹相談支援センター、コーディネーター事業、地域生活支援拠点の整備等を複合的に実施していく。
②8050問題では、どのような障がいの方が一番悩んでいるのか？	②市内には、精神障がいの方に対応できる施設がないので、今後検討する必要がある。
③障がい者の一般就労について現状と取り組みは？	③雇用率が、2.5⇒2.6%に上がるので、商工会と連携をとって障がい者雇用の推進を図っていく。

2. 議案第8号

知立市心身障害者扶助料支給条例の一部を改正する条例

＜改正内容＞

- (1)心身障害者扶助料と特別障害者手当等との併給を制限するため、当該扶助料の支給停止に係わる規定を追加するもの
- (2)障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）の一部改正に伴う項ずれ部分を改正するもの

＜施行期日＞

- ・令和3年4月1日（支給停止に係わる規定は令和3年8月分以後の扶助料について適用）

2. 議案第8号

知立市心身障害者扶助料支給条例の一部を改正する条例

＜着眼点＞

- ・ 障がい者にとって優しい支援体制がとれているか

委員の質問	当局の答弁
①制度改正に至った経緯は？	①障害者総合支援法に基づく多種多様な障害福祉サービスが制度化され、これを行う事業所が整っていることから、現金給付について見直しを図る時期にあると判断した。
②併給制限に踏み切った経緯は？	②市が一方的に決定できるものではないので、第4期知立市障がい者計画を策定する段階で、障がい者7団体から同意を得て、承認をいただいた。

3. 陳情第1号

ゼロカーボン達成に向けた取組みの推進に関する陳情書

< 陳情事項 >

- (1) 「ゼロカーボン宣言」を検討するなど、2050年までの二酸化炭素排出実質ゼロの達成に向け、地球温暖化対策を行うこと
- (2) 地球温暖化や気候変動に関することなど、市民や事業者への周知啓発を行うこと
- (3) 自然災害に対する適応力を高め、持続可能な地域づくりを行うこと
- (4) 市民、事業者、他都市などとの連携・協働に努め、環境学習の充実と環境行動の支援を行うこと

3. 陳情第1号

ゼロカーボン達成に向けた取組みの推進に関する陳情書

＜着眼点＞

- ・ 将来を見据え、脱炭素社会に向けた積極的な取組みを

委員の意見

- ①世界規模の問題であり、市民と共に行政としても積極的に取り組んでいく必要がある。
- ②市町村においても、自然的・社会的な条件に応じて温室効果ガスの抑制等に向けて、総合的かつ計画的な施策の実施により、脱炭素社会を築いていく必要がある。
- ③将来的な方向性であり、具体的な4項目の陳情意見に全面的に賛成する。
- ④知立市としての目標2030年度温室効果ガス排出量26%減に向けた取組みやクールチョイス、SDGsにも積極的に取り組んでおり、今後も柔軟に対応していく必要がある。

4. 議案第25号

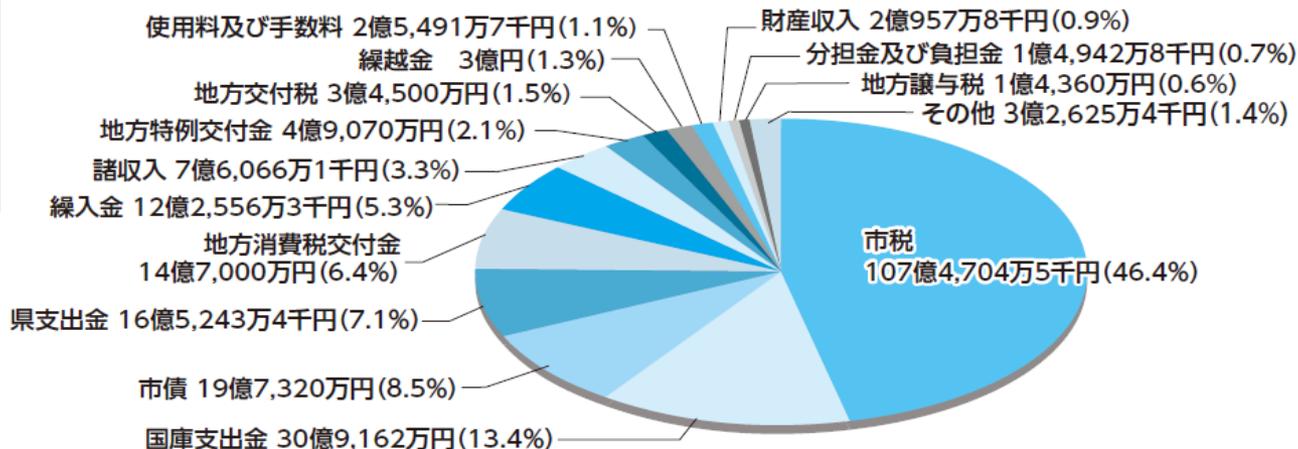
令和3年度知立市一般会計予算

〈 令和3年度当初予算 〉

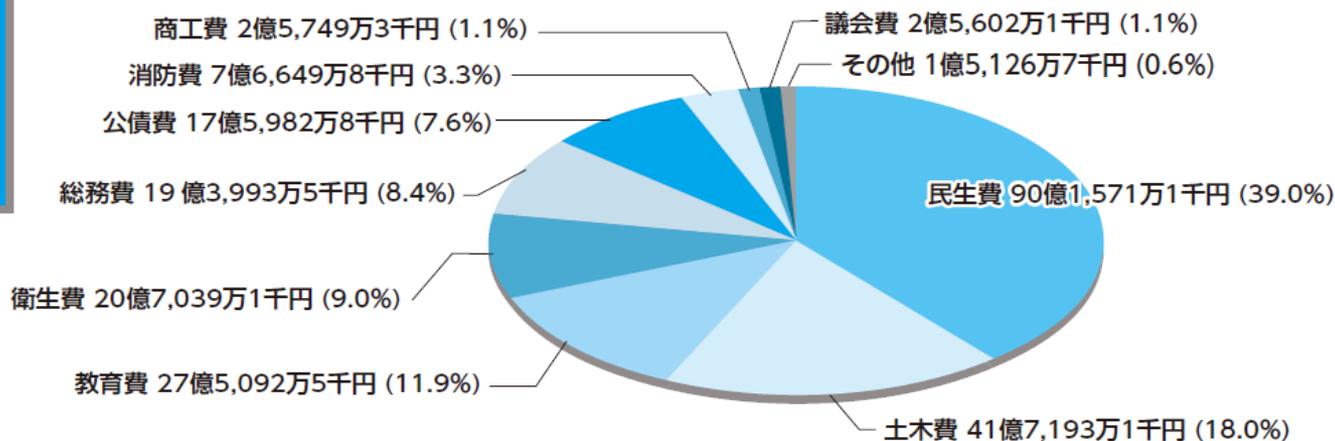
- 令和3年度当初予算は、一般会計・特別会計・企業会計の総額で378億4,210万円（前年度比3.8%減）です。
- 令和3年度においては、第6次知立市総合計画の将来像である『安らぎ・にぎわう 住みよさを誇れるまち「輝くまちみんなの知立」』の実現や、第2期知立市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる基本目標の達成に向けて、また、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた新しい生活様式への対応を支援するための施策や、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設等の計画的な修繕、更新などに対して、限られた財源を有効に活用し、優先順位を決めて予算の編成が行われました。

4. 議案第25号 令和3年度知立市一般会計予算

歳入
231億
4,000万円



歳出
231億
4,000万円



4. 議案第25号 令和3年度知立市一般会計予算

＜着眼点＞

- ・ 市民に寄り添った的確な予算編成がされているか

委員の質問	当局の答弁
①愛知県後期高齢者医療広域連合との委託事業は、どのように進めていくのか？	①これまでは特定健診のデータを基に糖尿病重症化予防等の事業を行ってきたが、今後は75歳以上の健診データも取り込み事業を行う。令和3年度は、低栄養の方々を抽出して保健指導等を行っていく。
②フレイル対策に、この事業をどのように活用していくのか？	②ハイリスク・ポピュレーションアプローチとして栄養、口腔機能、外出すること、社会性を持つこと等の重要性の周知や教育を行うことでフレイル予防を推進していく。

4. 議案第25号

令和3年度知立市一般会計予算

<用語説明>

- フレイルとは「加齢により心身が老い衰えた状態」
 - ▶ 早く対策を行えば元の健康な状態に戻る可能性がある
- ハイリスクアプローチとは「リスクの高い対象への働きかけ」
- ポピュレーションアプローチとは「全体に働きかけて、集団全体のリスクを低減させること」
 - ▶ 例えば「高血圧対策」で考えると、下記の違いがあります。
 - ポピュレーションアプローチ：
 - 全市民に対して、減塩の取り組みを支援する
 - ハイリスクアプローチ：
 - 健診で高血圧と判断された人に対して、医療機関で受診させたり、生活指導を行う

4. 議案第25号 令和3年度知立市一般会計予算

＜着眼点＞

- ・ 市民に寄り添った的確な予算編成がされているか

委員の質問	当局の答弁
③多胎児家庭への支援策は？	③下記、4つの事業を拡充する。 多胎児家庭健診サポート、産後ケア・産後家事援助助成利用期間の延長、一時保育利用料の負担軽減、ファミリーサポートセンター事業利用料の負担軽減を図る。
④住宅用地球温暖化対策設備導入促進事業について、昨年度と比べると補助単価が低くなっても、予算額が同じという理由は？	④県内各市の補助状況と設置費用を参考に、少しでも多くの件数を補助できるよう補助内容を見直した。

4. 議案第25号 令和3年度知立市一般会計予算

＜着眼点＞

- ・市民に寄り添った的確な予算編成がされているか

委員の質問	当局の答弁
⑤来年度、認定こども園に移行する民間保育園があるが、民間保育所が4対1で保育を行う場合、小規模を含めて市が補助するのか？	⑤市が補助するのは、民間保育園までで、来年度から認定こども園に移行する猿渡保育園にも補助する予定。
⑥地域生活支援拠点整備について、1年遅れた理由の説明を？	⑥本来、障がい福祉計画の中では、令和2年度から開始予定であったが、市が直営でやれるものではなく、事業所にお願いしていたが、人的手配等の体制が整わず、1年遅れての実施となった。

5. 知立市新型コロナワクチン接種計画

▶ 国から知立市へのワクチン供給数は、4/26週～5/9までに、1,950回（975人）分が確定しています。（4/16時点）

		4月		5月		6月		7月		8月以降
		下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	
高齢者 施設入所者		施設内接種								
65歳以上 個別接種		4/21(水)から 接種券発送		予約受付開始は、5/17(月)より						予定
		接種開始は、5/24(月)より						予定		
16歳～ 64歳		ワクチンの供給次第で 集団接種の可能性あり				接種券発送や接種開始時期は、未定				

- 個別接種は、最寄りの指定された医療機関（かかりつけ医）での接種
- 集団接種は、知立市保健センターでの接種（予定）
- 知立市では、3/15に専用のコールセンターを設置済（接種に関する相談及び集団接種の予約受付に対応）

以上

ご清聴ありがとうございました。

市民福祉委員会